

たくさんの子どもたちでにぎわった
ワークショップ



町と連携した大学の
取組紹介中…



木製ロボット作りや似顔絵、アク
セサリー作り、バスソルト作りの
ワークショップ



地域おこし協力隊や、町と連携している大学・
企業の皆さんが行なった活動報告の様子



空き家セミナー



キッチンカー

【町長の言葉】
みんなで踏み出した一歩

なぜ、万博を始めたのか？
それは、これからのまちづくりに
向かって、町(行政)だけでなく、町
民、事業者、町に関係してくれる皆
さんと想いを一つに、一歩、一歩、
歩みを進めていきたいから。

地方創生。その大きな柱の一つは
東京一極集中を是正し、地方への人
の流れを創ること。その実現に向け、
町でもこれまでさまざまな取組を進
め、一定の成果を上げてきました。
しかしながら、東京と地方という対
比の中で、外へ外へと視線が向き過
ぎていたのではないかと。外への発信、
外との交流の前提、土台として、内
への発信、内での想いの共有、機運
の醸成が、もっと必要なのではない
か。取組を進める中でそんな想いを
強くしてきました町が、さまざまな
連携の中で進めようとしている取組
はどんな内容なのか。どんな想いで
進めようとしているのか。皆さんに、
熱量、肌感も合わせ、直接伝えたい、
直接感じてほしい。そんな想いで万
博を始めました。

万博のチラシのイメージに込めた
想い。それぞれが持つ皆野町を形作
るピースが、一つでも欠けたら皆野
町にならない。一人ひとりの参加意
識が何より大切。
私がまちづくりに掲げる合言葉は

「みんなでみな」。共に想い、共に
創るまちづくりに欠くことのできな
い一人として、いっしょに取り組ん
でいただくこと、そして次回の万博
にはより多くの皆さんにご参加いた
だけることを切に願っています。

終わりに余談ですが、この万博。
私は、職員に「町政の報告会を企画
してほしい」と指示しました。我な
がら味気ない指示をしたものだと今
になって思います。職員から上が
ってきた企画は、「みんなで皆野
まちおこし万博」。私の想いをカタ
チにしてくれる職員に感謝と心強さ
を感じながら、これからも皆さんと
共に取組を進めてまいります。

